



神奈川県議会議員(茅ヶ崎市選出)

# くさか景子の

No. 78  
県議会報告  
2013  
11月号

ちょっ

と よろしいですか！

と



## 子宮頸がんワクチンの副反应对策を！

子宮頸がんワクチンは今年の4月の法改正で、小学校6年から高校1年の女子生徒の定期接種となりましたが、接種後の副反応報告が寄せられ、6月厚労省は自治体に積極的な接種の呼びかけを中止するよう通達しました。

しかし、既に副反応患者や支援者による「全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会」には副反応とみられる相談が600人以上寄せられ、神奈川県内でも18人の被害者が確認されています。茅ヶ崎市でも、被害が報告されています。

被害者への支援や情報提供のため、神奈川県支部の設立が決まりました。県内の自治体に、副反応との因果関係が解明されるまで接種を中止すること、被害者の医療体制の充実や学業への支援が急務です。

県内でワクチンを接種したのは約17万人、手足の麻痺や身体中の痛みなど症状は深刻で、接種後時間が経ってから症状が出る場合もあり、ワクチンの副反応とはわからず、神経の病気と言われた人たちも多くいます。今後も増えるでしょう。

10月に、横浜戸塚フォーラムに超党派の女性議員が集まり、被害者の生の声を聞き、私は深刻な症例にショックを受けました。県議会でも、本会議や委員会でも取り上げ、県内での対策強化を訴えています。

これだけ副反応の症例があるのに、公費負担のため、ワクチンを接種している人はいます。

いち早く因果関係の解明と現場での医師からの情報提供の強化を強く求めます。



9月24日

「民主党神奈川女性議員ネットワーク」で  
厚労省に要望書を提出！

- ・ワクチンの予防接種事業の中止
- ・副反応と接種との関係解明
- ・被害者への早急な支援
- ・子宮頸がん検診の心理的負担を減らすなど検診率を高めることなどを求める。



# こどもたちの未来のために



## 認知症の診断を受けたら「よりそいノート」をつけよう！

65歳以上の高齢者のうち認知症患者は推計15%、74歳までは10%だが、85歳以上で40%となり女性が多く発症し、数は年々増えています。

このノートは、認知症患者と家族の方が、安心して自分の住む地域で、かかりつけ医や専門医療機関、地域包括支援センター、介護支援専門員、介護サービス事業所などが連携し、適切な医療や介護を行うために利用します。

内容は本人のプロフィール、暮らしの様子、症状のチェック表、医療機関、薬など書き込んでおくことで医療などに役立ちます。

### ■認知症の人への対応

- 1) 驚かせない 2) 急がせない 3) 自尊心を傷つけない

### ■具体的な対応

- 1) まずは見守る 2) 余裕をもって対応 3) 声をかけるときは1人で  
4) 後ろから声をかけない 5) 相手に視線を合わせてやさしい口調で  
6) おだやかにはっきりとした話し方で 7) 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応



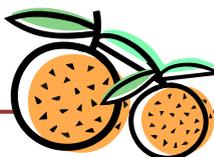
よりそいノート



## くさか景子のバスツアー

### 第五福竜丸展示館・都庁見学とみかん狩り

- ◆日時 2013年11月27日(水)  
午前 7:30 集合 8:00 出発 17:00 頃茅ヶ崎着
- ◆集合場所 茅ヶ崎市役所分庁舎と市民文化会館の間の道に集合
- ◆見学スポット 第五福竜丸展示館・都庁見学・みかん狩り  
(昼食はヒルトン東京ランチブッフェ)
- ◆募集人数 45名(申し込み順)
- ◆参加費用 4,000円(みかん狩り料金、昼食代、保険料、当日ご持参ください)
- ◆申し込み・問い合わせ先は、下記のくさか景子事務所までお願いします。



発行責任者 神奈川県議会議員くさか景子  
連絡先 くさか景子事務所 〒253-0043 茅ヶ崎市元町3-17 村田ビル202  
Tel&Fax 0467(58)0290 e-mail future@grace.ocn.ne.jp  
<http://keikokusaka.fc2rs.com/>

くさか景子

検索